



# 挑 戰

～夢を叶えるための挑戦そして前進～

武蔵ヶ丘中学校だより



令和8年1月13日



新年明けましておめでとうございます。1月8日(木)、出勤すると寒さの厳しい中、正門周辺をサッカーチーム、バスケットボール部を中心に多くの生徒が清掃活動を行っていました。2週間ぶりの生徒たちの元気な姿に清々し気持ちで後期後半を迎えることができました。

生徒会も12月で新旧が入れ替わり、新たな生徒会がスタートしました。新年を迎え、チャレンジ、チェンジをしている生徒たちを目の当たりにし、私たち職員も生徒たちに負けないよう、チェンジ、チャレンジ、挑戦と前進をしていきます！

今年度も残り3ヶ月となりました。安心・安全な学校を第一に、職員一同、学年の締めくくりを行っていきたいと思います。

## ～ 後期前半終了にともなう全校集会校長講話 ～



皆さんにとって今年の一年どんな年でしたか？

この一週間で今年一年を振り返り、令和8年に向けての気持ちを整える時間にしてほしいと思います。

反省と展望を重んじること、特に、私たち日本人は、節目を大切にして生活してきました。「一日の計は朝にあり、一年の計は元旦にあり」という言葉があります。この冬休み、これからどう時間を費やすか、考えてみてください。

令和7年の締めくくり、令和8年を迎えるにあたり、私から、この言葉を贈ります。

「限界などない。あるのは限界を口にしている自分だけだ。ありもしない限界にこだわるな。私から言わせれば、限界なんてこの世にはない。限界というから限界ができるのだ。」プロレスラーのアントニオ猪木さんの名言です。



さらに、「道」という言葉があります。

「この道を行けばどうなるものか、危ぶむなけれ。危ぶめば道はなし。踏み出せばその一足が道となり、その一足が道となる。」「道」は、皆さんの前に大きく拓かれています。だから努力しなさい。その努力は限界などなく「無限」です。不安はたくさんあるかもしれません、まずは、一歩を踏み出しましょう。踏み出さなければ、越えられる壁も越えられません、時間が経てば経つほど、大きな壁となって一人ではどうすることもできなくなります。そんなとき、周りからの支えを必要とし、周りからそっと押し出されたら、素直に受け入れる勇気、優しさを持ってください。そうすれば、新しい「道」が拓けてくると思います。迷わず一歩を踏み出しましょう。

私には、毎朝正門でみなと会える楽しみがあります。私は挨拶をするときできるだけ目を見て言葉を交わそうと心がけています。言葉にして挨拶をしてくれる人、言葉に出さなくても会釈をしてくれる人、言葉には出さなくても目で挨拶をしてくれる人、人それぞれですが、私にとって大切な時間です。毎日続けることで自分も変わり、周りも変わってきます。続けることが大切なことだとつくづく感じる毎日です。今、多くのみなさんが自分にできること、周りのためにできることを何かしら続けていると思います。続けることで何かが生まれます。何かに気づきます。そして何より新しい自分に気づき、新しい自分が生まれます。ちょっとしたことを続けましょう。新たな自分になるために、チャレンジ、チェンジ、常に挑戦と前進です。自他共に命を大切にし、人を傷つける言動は絶対にせず、令和8年1月8日。全員元気に会えることを楽しみにしています。



後期後半がスタートしたばかりですが、2年生は14日～16日の2泊3日で京都・神戸方面での修学旅行があります。平和学習や日本の誇る歴史や文化に直接触れ、たくさんのこと学んでほしいと思います。

また、寝食共になかまと過ごす貴重な時間を通し、絆をさらに深めることのできる2泊3日の修学旅行にしてほしいと思います。